

令和3年度 事前評価点検表（内部評価）

1 事業概要

事業名	一般府道 新家田尻線 歩道整備及び大正大橋架け替え事業	
担当部署	都市整備部 道路室 道路環境課 交通安全施設グループ（連絡先 06-6944-9283）	
事業箇所	泉佐野市南中樫井から泉南市新家	
事業目的	<p>本事業箇所は、幅員が狭隘な上、歩道のない区間があり、危険な状況であるため、歩行者等の安全性に課題がある。加えて、地域防災拠点（泉佐野南部公園）へのアクセス道路として、泉佐野市地域防災計画における地域緊急交通路に指定されている。そのため、泉佐野市が警察や府道路管理者等と連携し策定した「泉佐野市通学路交通安全プログラム（長南小学校区域）」に基づき、府が歩道整備を行うことで、安全な歩道空間の確保を目的に本事業を実施する。また、当該区間の大正大橋は、両側に歩道がない橋梁で、架設から 67 年が経過し老朽化が著しく、また耐震対策が未実施であることに加えて、有効幅員が約 5.0m であり、大型車の対向が困難な状況であることから歩道整備と併せて架け替えを行う。なお、大正大橋を含む本事業箇所については、整備後に泉佐野市へ引継ぐこととしている。</p>	
事業内容	<p>歩道整備、橋梁架け替え</p> <p>事業延長：0.40 km</p> <p>（現況）道路幅員：6.5m</p> <p>車道：2車線 [2.75m×2 + 路肩 0.5m×2]（一般部）</p> <p>車道：2車線 [5.0m]（橋梁部）</p> <p>（計画）道路幅員：12.0m</p> <p>車道：2車線 [3.0m×2 + 路肩 0.5m×2]、歩道：両側 [2.5m×2]（一般部）</p> <p>車道：2車線 [3.0m×2 + 路肩 0.5m×2]、歩道：両側 [2.5m×2]（橋梁部）</p>	
事業費	<p>全体事業費：約 9.7 億円〔国：5.3 億円、府：4.4 億円〕</p> <p>（内訳） 橋梁部：約 8.3 億円</p> <p style="padding-left: 20px;">用地費等 約 0.9 億円</p> <p style="padding-left: 20px;">工事費 約 7.4 億円</p> <p>一般部（歩道）：約 1.4 億円</p> <p style="padding-left: 20px;">用地費等 約 0.4 億円</p> <p style="padding-left: 20px;">工事費 約 1.0 億円</p>	
	<p>【事業費の積算根拠】</p> <p>事業費は積み上げにより算出</p>	<p>【工事費の内訳】</p> <p>橋梁部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新設橋梁上下部工 約 3.3 億円 ・仮設工 約 2.6 億円 ・既設橋梁撤去工 約 1.5 億円 <p>一般部（歩道）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道整備工 約 1.0 億円
事業費の変動要因	<p>地権者への補償費の算定については、概算額で計上しており、今後の調査により変動する可能性がある。</p>	
維持管理費	-（整備後、泉佐野市へ引継ぐ）	
関連事業	-	

2 事業の必要性等に関する視点

上位計画等における位置付け	<p>○大阪府都市整備中期計画 (R3.3)</p> <p>○泉佐野市通学路交通安全プログラム(R2.1)</p> <p>○大阪府都市基盤施設長寿命化計画 (H27.3)</p>
優先度	<p>本事業は、泉佐野市通学路交通安全プログラムに基づく交通安全対策である。本事業箇所には歩道のない区間もあり、危険な状況のため、緊急性が高い。</p> <p>また、大正大橋については、大阪府都市基盤施設長寿命化計画の更新の考え方に基づき、大阪府都市基盤施設維持管理技術審議会において審議された結果、更新と判定されており、歩道整備と併せた架け替えにより、橋梁の老朽化への対応も行うものである。</p> <p>上記に加え、本事業箇所の整備後は、泉佐野市へ引継ぐ予定としていることから優先度が高い。</p>
事業を巡る社会経済情勢等	<p>■社会経済情勢等</p> <p><通学路交通安全プログラム></p> <p>H24.4.23：京都府亀岡市で集団登校中の児童ら 10 名が死傷する事故発生。</p> <p>H25.12.6：「通学路交通安全プログラム」の策定に向けた取組みについて文部科学省、国土交通省、警察庁の 3 省庁合同通知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村(教育部局、道路部局など)が主体となりプログラムを策定。 ・関係機関(教育委員会、警察、各道路管理者)と連携した安全対策の実施。 <p>H27.1：泉佐野市通学路交通安全プログラム策定</p> <p>R2.1：当該プログラムが改定され、本箇所が位置付けられた。</p> <p><その他></p> <p>H29.11：大阪府都市基盤施設維持管理技術審議会において、橋梁架け替えの判定。</p> <p>R2.4：「泉佐野市地域防災計画」において、当該路線を地域緊急交通路に指定。</p> <p>■交通事故発生状況(平成 27 年～令和元年)</p> <p>交通事故件数：2 件（うち死亡事故：1 件）</p>
地元の協力体制等	<ul style="list-style-type: none"> ・泉佐野市において、当該事業に伴う用地取得などの協力。 また、整備後、泉佐野市が本事業区間を引継ぐ。 （協力内容等について、府と市とで協定を締結） ・地元小学校（長南小学校）より、泉佐野市通学路交通安全プログラムに基づく整備要望有。
事業の投資効果<費用便益分析>または<代替指標>	<p>交通安全事業における費用便益分析手法は確立されていない。</p>
事業効果の定性的分析(安全・安心、活力、快適性等の有効性)	<p>【安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道整備により、歩行者の安全が確保される。 ・周辺に小学校があり、児童の安全確保に寄与する。 <p>【活力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安心して社会参加できる生活空間の形成（バリアフリー化の推進・歩行者交通等の利便性向上） <p>【快適性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道整備により、歩行者の通行利便性の向上が図られる。 <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路利用者、地域住民

3 事業の進捗の見込みの視点

事業段階ごとの進捗予定と効果	令和3年度～令和4年度：用地測量、物件調査、用地買収 令和4年度～令和10年度：用地買収、歩道整備工事、橋梁架け替え工事
完成予定年度	令和10年度

4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

代替手法との比較検討	<ul style="list-style-type: none">歩行者の安全を確保するためには、通行車両と歩行者等を物理的に分離できる歩道整備を行うことが最善策であり代替案はない。大正大橋については既存の橋梁に対して耐震補強及び歩道の拡幅をすることは可能であるが、大阪府都市基盤施設長寿命化計画に基づき、長寿命化ではなく更新が望ましいと判断されている。
------------	---

5 特記事項

自然環境等への影響とその対策	本事業において新たに自然環境に影響をあたえることはない。
その他特記事項	—

6 評価結果

評価結果	<p>○事業実施</p> <p><判断の理由></p> <ul style="list-style-type: none">本事業箇所は、歩道のない箇所があり、危険な状況であるため、歩道整備を行うことで、歩行者等の安全確保が図られる。泉佐野市通学路交通安全プログラム（長南小学校区域）に基づく事業である。歩道整備と併せて大正大橋の架け替えを行うことで、橋梁架け替えに係るトータルコスト縮減を図る。本事業区間は整備後、泉佐野市へ引継ぐ。 <p>以上の理由から、事業を実施する。</p>
------	--

令和3年度 事前評価（一般府道新家田尻線 歩道整備及び大正大橋架け替え事業）

